

「第 34 回 幼児の交通安全教室」

当校では地域の交通安全教育センターとして、幼稚園児から高齢者に至るまで交通安全教育を実施しているところですが、この度、福山西警察署と協働し、松永幼稚園児を対象に交通安全教室を開催しました。

実施日時・場所

令和6年5月28日（火） 10:00～11:20 雨天

備南自動車学校物流アカデミー



NHK昼のニュース（動画、内容）

福山市の幼稚園児が自動車学校で車の特徴と怖さ学ぶ

福山市の自動車学校で幼稚園児を対象にした交通安全教室が開かれ、園児が横断歩道の正しい渡り方や車の特徴と怖さを学びました。

28日に開かれた交通安全教室には、福山市の松永幼稚園に通う園児およそ70人が参加しました。教室では自動車学校のコース内で時速30キロと時速40キロの車を走らせ、同じタイミングでブレーキをかけた場合、時速40キロの車の方が止まるまでの距離が長いことを学びました。

また、角に風船を置いた交差点をトラックが曲がると風船を次々と割ってしまうのを見て、運転手から見えない場所があることを教わりました。

その後、室内に移動して、横断歩道を模したマットを使って警察官の合図のもと、手を挙げてから右と左を見て、信号を確認しながら横断歩道を渡っていました。

警察によりますと、ことし4月までの4か月間に県内で起きた交通事故で13人の歩行者が死亡していて、去年の同じ時期に比べて5人増えているということです。

参加した女の子は「横断歩道を渡るのが楽しかったです。右と左を確認しながら横断歩道を渡りたいです」と話していました。

福山西警察署の松本佳博交通課長は、「歩行者は、横断歩道ではしっかりと止まり、右と左を確認してください」と注意を呼びかけました。